

● 株主の皆様へ ●

第200期

期末のご報告

2023年4月1日から2024年3月31日まで



CONTENTS

社長インタビュー	1
トピックス	4
商品紹介	7
連結決算の状況	9
会社概要・株式の状況	10
裏表紙	
● 定時株主総会 決議ご通知	
● 株主のしおり	

株主の皆様へ

「第200期 期末のご報告」をお届けするにあたり、株主の皆様の平素のご支援に対し厚く御礼申し上げます。当社は2024年5月14日に「2023年度連結決算」を発表しました。2023年度の事業の概要と今後の見通しについてご説明いたします。

代表取締役社長

前鶴俊哉



社長インタビュー

2023年度の事業の概要と今後の展望

持続的成長による収益力の拡大と企業価値の向上を目指す

Q この1年の事業環境を振り返ってみていかがでしたか？

A 2023年度の国内経済は、行動制限の緩和による個人消費およびインバウンド需要の回復が続きました。また、原材料・エネルギー価格の高騰により製造・輸送コストは依然として高止まりの状況にあるものの、ロシアによるウクライナ侵攻後に高騰した穀物相場は沈静化し安定的に推移しております。複雑化する国際情勢、国内の金融政策の動向および為替相場の変動リスクなど、依然として見通しは明るくないものの、経済活動の正常化に伴い、当社グループを取り巻く経営環境は緩やかに改善しました。

このような状況下、当社グループは経営理念「人々のウェルビーイング(幸せ・健康・笑顔)を追求し、持続可能な社会の実現に貢献します」のもと、環境負荷低減や

人的資本等のサステナビリティ課題への取り組みを強化するなど、企業価値の持続的な向上に努めました。

Q 2023年度の業績について概要をお聞かせください。

A 2023年度の連結業績は、売上高は4,005億1千4百万円(前期比109.6%)、営業利益は203億4千万円(同165.5%)、経常利益は232億8千万円(同157.1%)、親会社株主に帰属する当期純利益は263億6千7百万円(同257.0%)となりました。

原材料および各種コストの上昇や拡売のための戦略コストの増加があったものの、ワンプレート類を中心とする冷凍食品類の販売数量伸長、中食事業の堅調な推移、生産性の向上によるコストダウン等により、売上高、各段階利益ともに過去最高を更新しました。

期末配当につきましては、これまでご支援いただきました株主の皆様へ感謝の意を表すため、当初予想に対して1株当たり10円を加え、38円(年間配当金1株当たり66円)とさせていただきます。

Q 「2022-2026中期目標」の修正についてお聞かせください。

A 当社は、2026年度までに売上高4,000億円・営業利益150億円の達成を目指す中期目標を策定しておりましたが、生産性の向上、販売数量増、価格改定の浸透等により、2023年度実績が2026年度の当初目標を上回ったことから、今般以下の新たな数値目標を設定しました。

2026年度目標	売上高	4,500億円
	営業利益	210億円 (償却前営業利益358億円)
	ROE	8%以上
	ROIC	5%以上

新工場稼働等に伴う償却負担増により、営業利益は2023年度比で僅かな増加となるものの、償却前営業

2023年度 連結決算ハイライト (2023年4月1日～2024年3月31日)			
売上高	4,005億円 (前期比 109.6%)	1株当たり 当期純利益	338.20円
営業利益	203億円 (前期比 165.5%)	総資産	3,866億円
経常利益	232億円 (前期比 157.1%)	純資産	2,282億円
親会社株主に帰属する 当期純利益	263億円 (前期比 257.0%)	1株当たり純資産	2,874.28円

利益は大きく伸長する数値目標となります。

基盤領域(製粉事業・食品素材事業・加工食品事業)の収益力強化、成長領域(冷凍食品事業、中食事業、ヘルスケア事業、海外事業)および新規事業領域への戦略投資、M&Aや事業提携機会の追求などを戦略の基本方針とし、事業を展開していきます。

Q 「長期ビジョン2030」についてお聞かせください。

A 先に策定した、売上高5,000億円・営業利益250億円規模までの成長を目指す経済的価値の追求に加えて、社会的価値の創造にも注力するため、当社のありたい姿と取り組みの方向性を整理し、2030年度までに達成することといたしました。

経済的価値の追求にあたっては、「①素材および加工技術の探求とブランディング強化による既存事業の拡大」「②事業の横展開、M&A、業務提携による事業領域拡大」「③ウェルビーイング実現のための社会課題解決型事業創出」の3つを柱とし、事業成長に取り組んでいきます。

2024年度 通期予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)	
売上高	4,120億円 (前期比 102.9%)
営業利益	205億円 (前期比 100.8%)
経常利益	225億円 (前期比 96.6%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	240億円 (前期比 91.0%)

社会的価値の創造にあたっては、企業価値創造の源泉となる「従業員」のウェルビーイングと「社会」と「生活者」のウェルビーイングを同時に実現するための施策に取り組みます。

今般策定した「長期ビジョン2030」を目指すべき姿として長期的な課題に取り組み、SX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)を推進するため、DX(デジタル・トランスフォーメーション)のさらなる活用を図り、企業価値の向上を目指していきます。

Q 2024年度の通期連結業績について見通しをお聞かせください。

A 今後の国内経済は、物価の上昇に対して賃金の改定や雇用環境の改善が段階的に進むことにより、内需を中心に緩やかに回復していくものと考えられます。

一方で、中東を中心とする地政学リスクの悪化懸念や円安の長期化により、エネルギー価格や原材料価格は

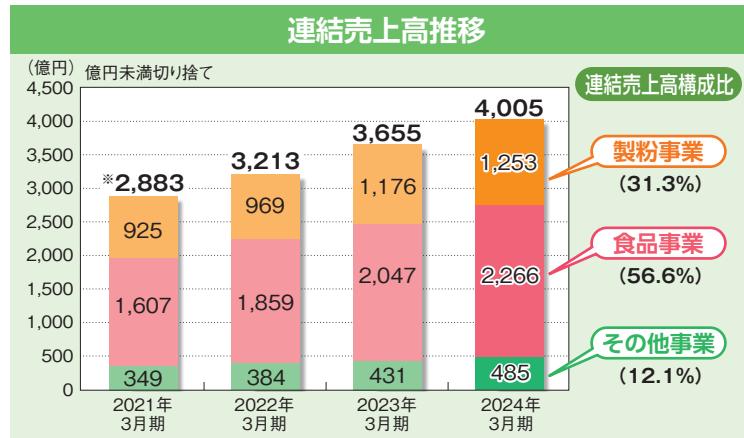
引き続き高水準で推移することが予想されており、これらが企業業績に与える影響は不透明です。

このような状況下、当社はブランド力の強化や差別化した商品の展開に注力するほか、生産拠点の整備・拡充や事業の取得・提携を推進することにより、売上・収益の向上を図ってまいります。

以上により、2025年3月期の連結業績は、売上高4,120億円、営業利益205億円、経常利益225億円、親会社株主に帰属する当期純利益240億円を見込んでおります。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 当社は、「食」を通じて人々に貢献できる会社であり続けるために、グローバルな事業の拡大と新たな事業の創出により、持続的な成長を実現させてまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



※2021年3月期の数値は、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及適用後の数値となっております。



トピックス

『株主様向け料理教室2024 in 東京』開催のお知らせ

ご好評をいただいている株主様向け料理教室を、今年は回数を増やして開催いたします。54名の株主様をご招待させていただきます。皆様のご応募を心よりお待ちしております。

教室名	A. ふっくらパン教室	B. ふっくらパン教室	C. ふっくらパン教室
開催日時	2024年9月5日(木) 12:30～16:00(開場12:10)	2024年9月13日(金) 12:30～16:00(開場12:10)	2024年9月27日(金) 12:30～16:00(開場12:10)
※終了時間は多少前後する場合があります。			
定員	18名	18名	18名
講習内容	お1人様ずつ「フォカッチャ」を作ります。パン作りが初めての方でも、安心してご参加いただけます。 ※ご自身が作ったパンの一部をご試食いただけます。		



開催場所 ハッピークッキング
東京都千代田区神田錦町3-3 竹橋3-3ビル1階
竹橋駅(東京メトロ東西線)3b出口より徒歩4分
神保町駅(東京メトロ半蔵門線、都営地下鉄新宿線・三田線)A9出口より徒歩4分
※詳細はハッピークッキングホームページでご確認ください。https://www.happycooking.jp/

持ち物 エプロン・手ふき・筆記用具・お持ち帰り用の袋 **受講料** 無料

応募方法 郵便はがきに応募券を貼付し、下記の必要事項を明記してご応募ください。
①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤携帯番号(お持ちの方のみ)
⑥希望教室名「A.ふっくらパン教室」「B.ふっくらパン教室」「C.ふっくらパン教室」いずれか1つ
※ご応募・ご参加は株主様ご本人に限定させていただきます。
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-8
株式会社 ニッポン IR室「株主様向け料理教室」係

応募締切 2024年7月19日(金) 必着 ※応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

応募結果 2024年8月14日(水)までに当選者の方へ受講票をお送りいたします。
※当選の結果は受講票の発送をもって代えさせていただきます。

問合せ先 株式会社 ニッポン IR室 03-3511-5316(平日9:00～17:00)

注意事項

- 1枚のはがきにつき、応募券1枚をお貼りください。
- 開催場所までの往復交通費はご負担ください。
- 駐車場はございません(公共交通機関をご利用ください)。
- 株主様以外のご応募はご遠慮ください。
- お子様のご同伴はご遠慮ください。
- ホームページやお電話でのお申込みはできません。
- 当日は、会場内の様子を写真撮影いたします。弊社ホームページや「株主の皆様へ」などで使用させていただきます。予めご了承ください。



社長インタビュー

トピックス

郵便はがき
〒1020083
株式会社 ニッポン IR室
株主様向け料理教室係
東京都千代田区 麹町4-8

- ①郵便番号
- ②住所
- ③氏名
- ④電話番号
- ⑤携帯番号
- ⑥希望教室名



応募券を貼ってください

2024 IR料理教室
応募券
2023.4Q

● ニッポングループ「長期ビジョン2030」、「2022-2026中期目標の修正」 ●

ニッポンは、長期ビジョンとして設定した売上高5,000億円・営業利益250億円を達成するためのマイルストーンとして、2026年度までに売上高4,000億円・営業利益150億円の達成を目指す中期目標に取り組んできました。

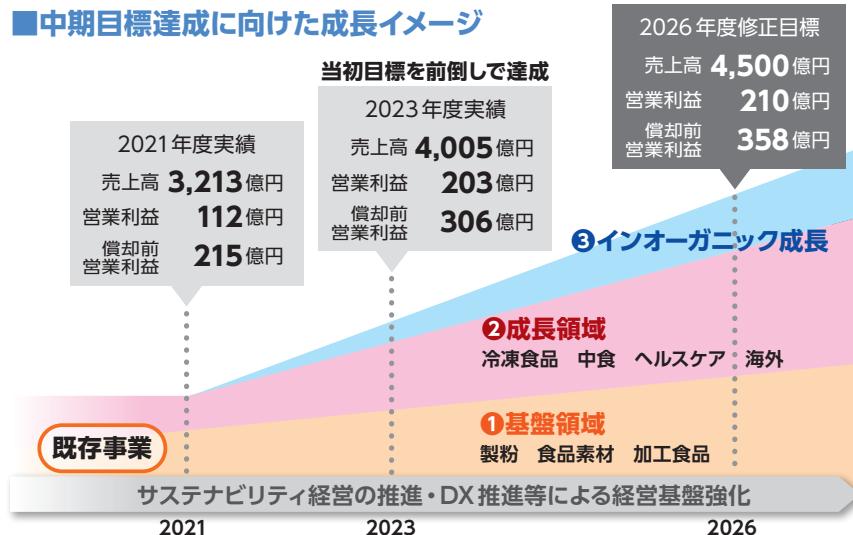
今般、2023年度実績が2026年度までに達成することを目指した当初の中期目標を前倒しで達成したことから、中期目標を修正するとともに、長期ビジョンについても2030年度までのロードマップを策定しました。

2022-2026中期目標の修正

当社は、生産性の向上、販売数量増、価格改定の浸透等を背景に、2023年度実績が当初目標を上回ったことから、新たな数値目標を設定いたしました。

2026年度までに、売上高4,500億円・営業利益210億円の達成を目標とします。

基盤領域の収益力強化、成長領域および新規事業領域の戦略投資、M&Aや事業提携機会の追求などを戦略の基本方針とし、事業を展開していきます。



長期ビジョン2030について

先に策定した、売上高5,000億円・営業利益250億円規模までの成長を目指す経済的価値の追求に加え、社会的価値の創造に注力するため、当社のありたい姿と取り組みの方向性を整理し、2030年度までに達成することとしました。

経営理念の実現に向け、新たな長期ビジョンは、「ニッポングループは、総合食品企業として、食による社会課題の解決に挑み続けます」と定めました。

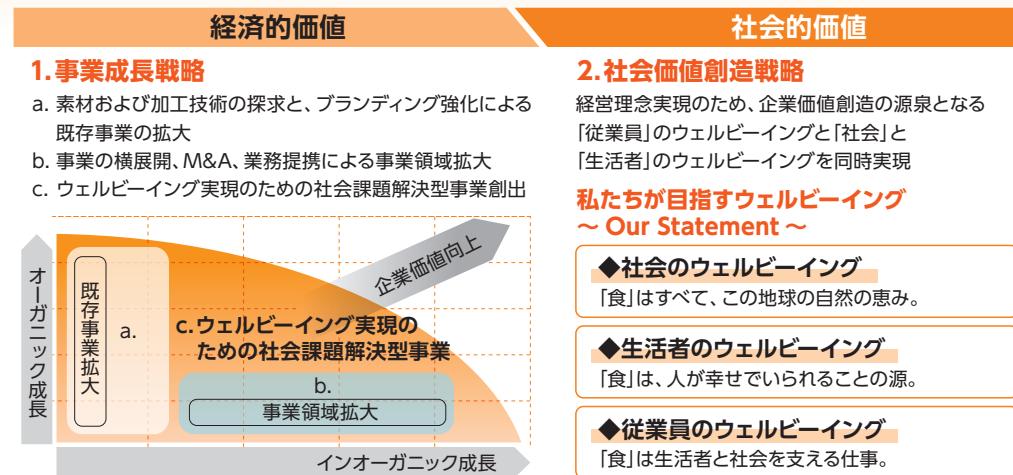
経営理念・経営方針・長期ビジョン



1 長期ビジョンの成長戦略

総合食品企業として、多岐にわたる原材料と、それらをさまざまな技術を用いて展開することで、多様化する社会課題の解決に挑み続けます。経済的価値を追求する事業成長戦略と社会価値創造戦略の両輪が噛み合いながら成長の原動力となり、長期ビジョンの達成を目指していきます。

総合食品企業としての成長戦略



2 2030年度までのロードマップ

今般策定した長期ビジョン2030を目指すべき姿として長期的な課題に取り組み、SX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)を推進するため、DX(デジタル・トランスフォーメーション)のさらなる活用を図り、企業価値の向上を目指していきます。

2030年度までのロードマップ



2024年春夏新商品・リニューアル品のご紹介

もっと便利に、もっとおいしく！お客様のニーズに寄り添う商品をご紹介します。

「いつも」を「すごい！」にするパスタ。「オーマイプレミアム」ブランド

家庭のパスタに驚きのおいしさをお届けするブランドとしてご支持いただいている「オーマイプレミアム」に、続々とグロサリー・冷凍食品の家庭用商品やリニューアル品が登場しました。担当者の声とともに、新商品、リニューアル品をご紹介します。



グロサリー ◆オーマイプレミアム もちっとおいしいスパゲッティ 1.5mm / 1.8mm



パスタ作りに70年の歴史を持つニッポンが、「パスタは「麺」でもっとおいしくなる！」をキャッチフレーズに、新時代の乾燥パスタを新発売。開発にあたり消費者理解を深めると、「おうちで食べる乾燥パスタはこんなものだ、大きな違いはない」と思う方がいる一方、「おうちでもっとおいしいパスタを食べたい」という思いを持っていることが見えてきました。そんなお客様の思いに応えた、いつもの一皿をもっとおいしくするスパゲッティです。



開発担当

中央研究所 イノベーションセンター
(開発当時：開発本部 食品開発部)
千葉 勇太

今回の商品は「スパゲッティを変えるだけでいつもよりおいしくなった！」と思っていただけるよう、とことん食感にこだわり開発しました。何度も試作を繰り返し、日本人が好むもちっと食感とパスタらしい食感(表面のハリ)という、最良の食感の両立を実現したのがこのスパゲッティです。店頭で見かけた際は、ぜひお試しください。



マーケティング担当

マーケティング推進部
佐藤 薫

現状のパスタ売り場は、麺の太さ、ゆで時間といった数字だけが書かれているパッケージが並び、食品として最も重要な「おいしさ」を伝えきれていないのではと考えたことが開発のきっかけです。中身はもちろん「直感的にもちっとおいしい」が伝わるパッケージにもこだわりました。ご家庭でのパスタの新たな選択肢として、ぜひこのスパゲッティをお楽しみください。

冷凍食品

◆オーマイプレミアム 至極のカルボナーラ



極上のおいしさを味わえる「オーマイプレミアム 至極」シリーズに、カルボナーラが登場！平打ちの生パスタに絡みつく濃厚なカルボナーラソースと、食べ応えを感じられる厚切りの熟成ベーコンのコラボレーションは、まさに至極の逸品です。



開発担当

開発本部 食品開発部
飯島 一行

お薦めのポイントは、ソースとの絡みが最高の生パスタと、旨みを凝縮させた熟成ベーコンです。生パスタと相性抜群のカルボナーラソースに、ジューシーな厚切りベーコンを絡め、口いっぱいにお楽しみいただきたいです。多くの人の協力で完成した自信作「オーマイプレミアム 至極のカルボナーラ」を店頭で見かけた際は、ぜひお試しください。

◆オーマイプレミアム 冷凍パスタシリーズ



2003年の発売以来、皆様に愛され続けている「オーマイプレミアム」の冷凍パスタ。麺はもちろん、ごろり、どっさりとした大きな具材にまでこだわり抜いた商品です。今回、より商品のおいしさが伝わるよう、シリーズ全品のパッケージをリニューアル。人気の「たらこといか」「舞茸となすの香味醤油」「海の幸の醤油バター」は味わいも深まりよりおいしくなりました。2023年に期間限定商品として登場し大好評をいただいた「うま塩レモン」は、今年も発売します。



開発担当

開発本部 企画開発部
青柳 美玲

「オーマイプレミアム」シリーズが、8年ぶりに大幅なデザイン変更を行いました。商品の強みである「大きな具がたっぷりおいしい！」をより多くのお客様に気付いていただきたいという思いでブラッシュアップを重ね、完成したパッケージです。おいしさを直感的に伝える新デザインで、お客様に商品の魅力をお届けしていきます！

グロサリー

◆ニッポン めちゃラク アイスの素 コールドストーン

おいしく楽しいお菓子作りを応援する「めちゃラク」シリーズに、新商品が登場。目の前で商品を仕上げるパフォーマンスと歌のサービスが特長の人気アイスクリーム店「コールドストーン」とコラボしました。店舗の味をイメージしたスイートミルク味のアイスに、お好みの具材を加えてお楽しみいただけます。



冷凍食品

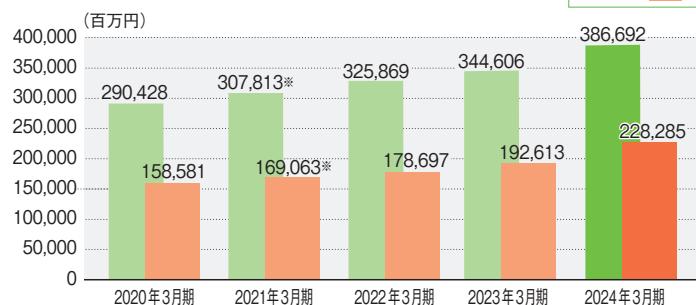
◆ニッポン いまどきごはん チーズタッカルビ丼 / 具だくさんミートドリア

2016年から展開している「いまどきごはん」シリーズは、「家庭では作りにくい外食のトレンドメニュー」がコンセプト。今回2品を新たに追加し、全8品になりました。

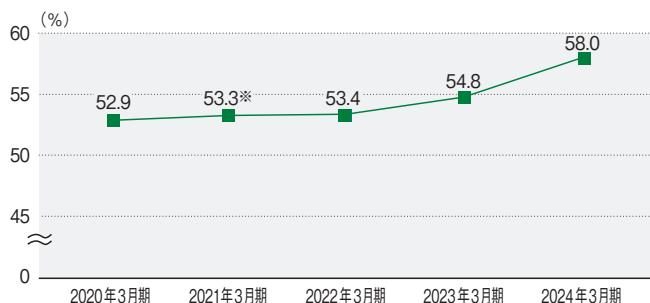


連結決算の状況

総資産／純資産



自己資本比率

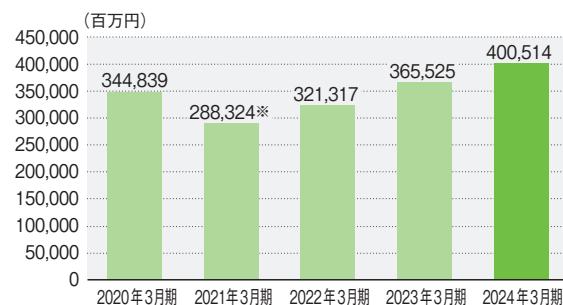


キャッシュ・フロー



※ 2021年3月期の各数値は、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、遡及適用後の数値となっております。

売上高



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益／1株当たり当期純利益



会社概要

(2024年3月31日現在)

社名	株式会社 ニッポン
本店所在地	東京都千代田区麹町四丁目8番地
設立	1896年(明治29年)12月
資本金	122.4億円
従業員	1,173名[単体]
主な事業内容	小麦粉およびプレミックス、パスタ、冷凍食品など二次加工食品の製造販売、中食・総菜事業、ペットフード事業、ヘルスケア事業、バイオ関連事業など
事業所	本店(東京)、9支店、10工場、研究所(厚木)

主なグループ会社

松屋製粉株式会社	ニッポン商事株式会社
オーマイ株式会社	日本リッチ株式会社
株式会社ファーストフーズ	オーケー食品工業株式会社
株式会社ナガノトモ	エヌビーエフジャパン株式会社
ニッポンドーナツ株式会社	ニッポンエンジニアリング株式会社
海外(米国、中国、タイ、インドネシア)	

株式の状況

(2024年3月31日現在)

●発行可能株式総数	300,000,000株
●発行済株式総数	78,824,009株
●総株主数	33,136名
●大株主の状況	

大株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,724	8.6
ニッポン取引先持株会	4,464	5.7
大樹生命保険株式会社	3,497	4.5
三井物産株式会社	3,349	4.3
株式会社ダスキン	2,510	3.2
伊藤忠商事株式会社	2,250	2.9
株式会社三井住友銀行	2,246	2.9
農林中央金庫	2,060	2.6
三井住友海上火災保険株式会社	1,879	2.4
さぬき丸一製麺株式会社	1,755	2.2

(注) 持株比率は、自己株式457千株を控除して計算しております。

役員

(2024年6月27日現在)

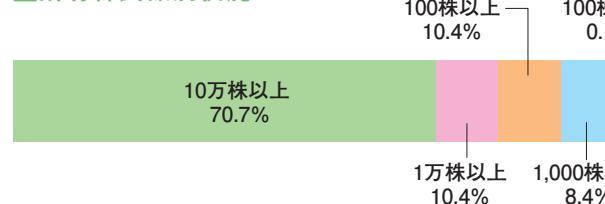
代表取締役社長	社長執行役員	前鶴 俊哉	上席執行役員	飛鷹 裕之
取締役	専務執行役員	香川 敬三	上席執行役員	高橋 幹尚
取締役	専務執行役員	木村 富雄	上席執行役員	松本 博之
取締役	常務執行役員	川崎 裕章	上席執行役員	林 逸郎
取締役	常務執行役員	小浦 浩司	執行役員	是松 雅彦
取締役	執行役員	大田尾 亨	執行役員	池尾 良
取締役	執行役員	阿部 直樹	執行役員	佐藤 高宏
取締役(社外取締役)		川俣 尚高	執行役員	間 和彦
取締役(社外取締役)		熊谷 日登美	執行役員	品川 剛
取締役(社外取締役)		高岡 美佳	執行役員	中村 保司
【監査等委員である取締役】				
取締役		青沼 孝明		
取締役(社外取締役)		吉田 和彦		
取締役(社外取締役)		葉山 良子		

株式の分布状況

(2024年3月31日現在)



所有株式数別状況



第200回定時株主総会 決議ご通知

2024年6月27日開催の当社第200回定時株主総会において、下記のとおり報告及び決議されましたので、ご通知申し上げます。
記

報告事項

- 第200期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
 - 第200期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)計算書類報告の件
- 本件は上記の各内容を報告いたしました。

決議事項

- 第1号議案** 剰余金処分の件
本件は原案のとおり承認可決され、期末配当金は1株につき38円と決定いたしました。
- 第2号議案** 取締役(監査等委員である取締役を除く。)10名選任の件
本件は原案のとおり承認可決され、取締役(監査等委員である取締役を除く。)に前鶴俊哉、香川敬三、木村富雄、川崎裕章、小浦浩司、川俣尚高及び熊谷日登美の7氏が再選、新たに大田尾亨、阿部直樹及び高岡美佳の3氏が選任され、それぞれ就任いたしました。なお、川俣尚高、熊谷日登美及び高岡美佳の3氏は社外取締役であります。
- 第3号議案** 監査等委員である取締役3名選任の件
本件は原案のとおり承認可決され、監査等委員である取締役に吉田和彦氏が再選、新たに青沼孝明及び葉山良子の両氏が選任され、それぞれ就任いたしました。なお、吉田和彦及び葉山良子の両氏は社外取締役であります。
- 第4号議案** 補欠の監査等委員である取締役1名選任の件
本件は原案のとおり承認可決され、補欠の監査等委員である取締役に成瀬健太郎氏が選任されました。なお、同氏は補欠の監査等委員である社外取締役として選任されたものであります。
- 第5号議案** 取締役(監査等委員である取締役を除く。)の報酬額改定の件
本件は原案のとおり承認可決されました。
- 以上

株主のしおり

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当:毎年3月31日 中間配当:毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 (特別口座の口座管理機関) 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	 0120-782-031 (フリーダイヤル)
ホームページ	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

nippon

株式会社 ニッポン

〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目8番地 TEL.03-3511-5301(代表)

ホームページ <https://www.nippon.co.jp/>

